

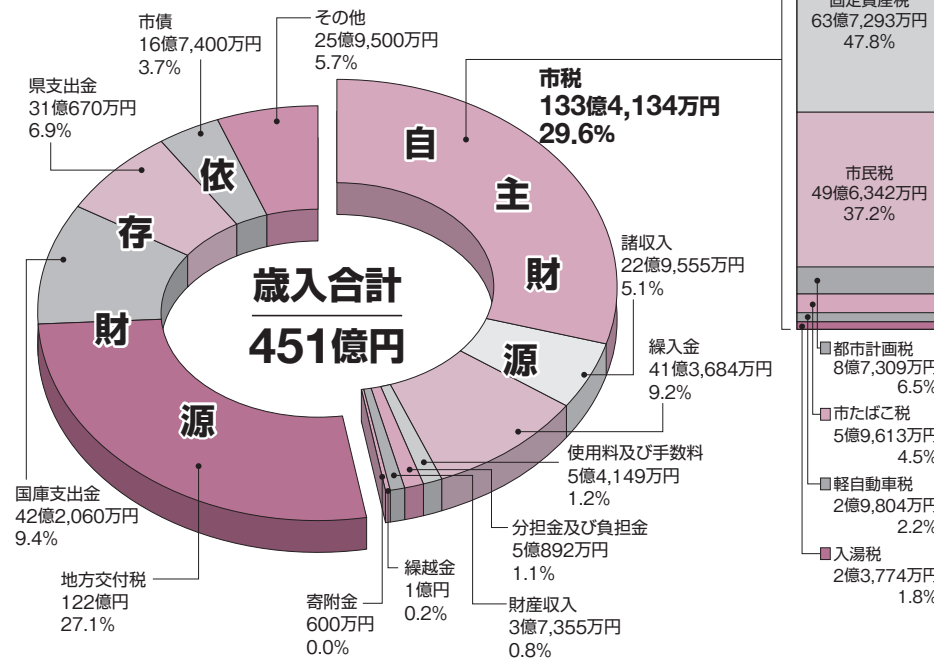
平成30年度 予算

人と自然、そして文化がおりなす 活力とやさしさがあふれる 飛驒高山を目指して

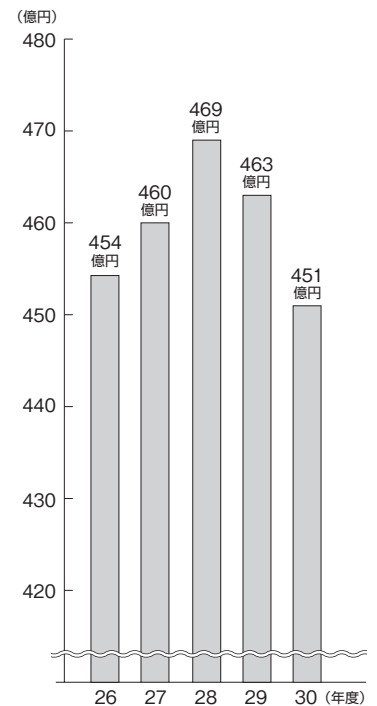
総額745億円のあらまし

市では、2月27日から開会した市議会定例会に、一般会計451億円、特別会計・企業会計294億円余の平成30年度予算案を提案しました。

歳入



●一般会計当初予算の推移



新年度予算案のポイント

平成30年度は第八次総合計画の4年目、計画期間前半の仕上げと中間見直しの準備の年度にあたり、「人・自然・文化がおりなす活力とやさしさがあるまち飛驒高山」の実現に向けた取り組みと、まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育大綱の取り組みをしっかりと継続させていくための重要な年度になります。

こうした中、市が持つ多様な地域資源や地域特性を活かし、各地域が主体となり自立したまちを形成できるよう予算配分を行いました。

特に平成30年度は、教育大綱に掲げる願いの実現に向けて、子どもの夢や創造力を伸ばす子ども夢創造事業の充実や、若者が活躍するまちづくりの拠点となる施設の整備、子どもの生活習慣や食に関する意識を向上させる眼育・食育講座の開催、児童生徒等の重大事態に対して速やかに事実関係の調査を行う重大事態調査委員会の設置などに取り組みます。